

2024年6月5日

各位

会社名 マクセル株式会社
代表者名 取締役社長 中村啓次
(コード番号：6810 東証プライム)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション本部
広報・IR部
(TEL. 03-5715-7061)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（計画策定・開示）

当社は、2023年10月30日付で公表した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（現状分析）」に続き、本日の取締役会において対応計画を策定しましたので下記のとおりお知らせします。

記

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応については、「現状分析」「計画策定・開示」「取組みの実行」の一連の対応を継続し、その進捗状況につき検証を行ったうえで毎年開示していくことが東京証券取引所より求められています。

本日公表の計画では、2023年10月30日に公表した現状分析の結果を踏まえ、2025年3月期から2027年3月期までの中期経営計画 MEX26（Maximum Excellence 2026）の期間における資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた当社としての対応方針と具体的取組みを明確にしています。


（計画の概要）

現状分析においては、「収益性改善」と中長期の成長への期待に応えること、すなわち「安定的な利益成長」が最重要課題であることを認識しました。MEX26においては、収益性の改善に向けて事業ポートフォリオ改革を加速するとともに、安定的な利益成長の実現に向け注力3分野における成長事業を中心に、先行開発の強化や新市場の開拓活動強化、積極的な設備投資など経営資源を重点的に配分していきます。加えて、MEX26の期間におけるキャッシュアロケーションについては、成長投資の加速とともに、「PBR1.0倍超」の実現も念頭に置き、総還元性向100%以上として株主還元策を強化し、資本コストの最適化を図っていきます。

計画の詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について―計画策定・開示―」を参照ください。また、当社ホームページに掲載の「中期経営計画 MEX26」も併せてご参照ください。

当社は、本日公表した計画に基づき取組みを順次実行していくとともに、定期的に検証していくことで持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざしていきます。

以上



資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について
—計画策定・開示—

- 東京証券取引所の要請である「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関し、2024～2026年度までの中期経営計画 MEX26に基づいた当社の計画についてご説明します

現状分析

(2023年10月開示済)

- 自社の資本コストや資本収益性を的確に把握
- その内容や市場評価に関して、取締役会で現状を分析・評価

本日の説明内容

計画策定・開示

- 改善に向けた方針や目標・計画期間、具体的な取組みを取締役会で検討・策定
- その内容について、現状評価とあわせて、投資者にわかりやすく開示

取組みの実行

- 計画に基づき、資本コストや株価を意識した経営を推進
- 開示をベースとして、投資者との積極的な対話を実施

中期経営計画 MEX26の施策に基づき計画を策定

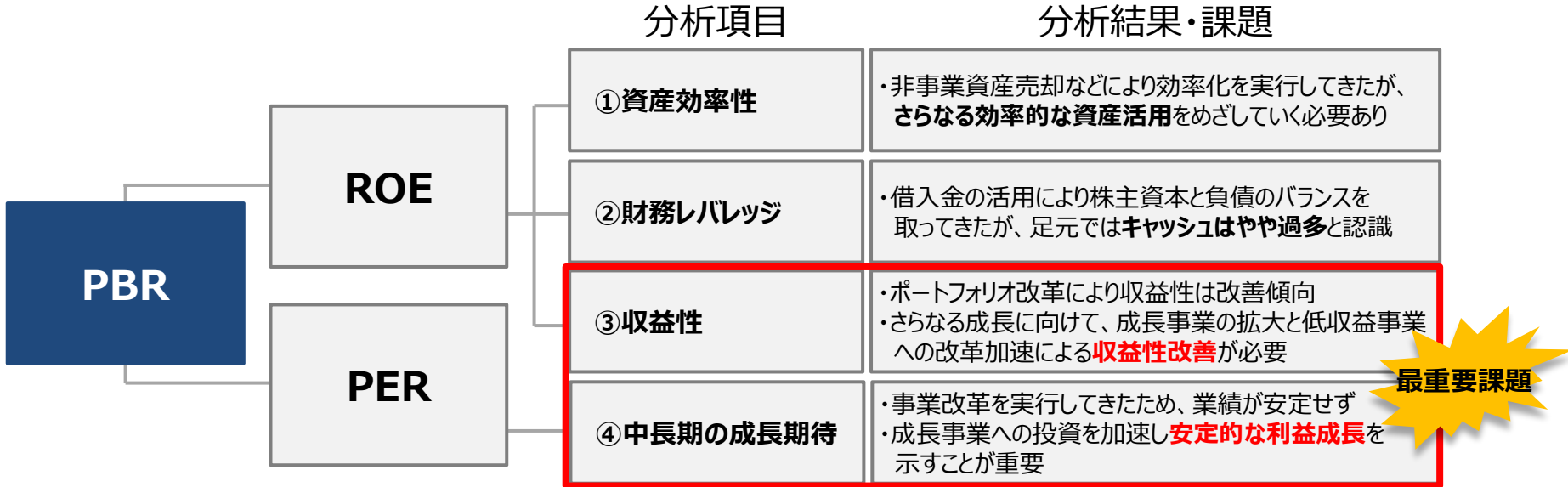
- ・**現状分析における重要課題**
- ・**PBR1.0倍超に向けた取り組み**
 - ・「収益性改善」「安定的な利益成長」の実現
 - ・キャッシュアロケーション計画
- ・**中期経営計画 MEX26目標**

詳細は6月5日に公表した中期経営計画 MEX26をご参照ください

現状分析における重要課題

現状分析における重要課題 (2023年10月30日公表)

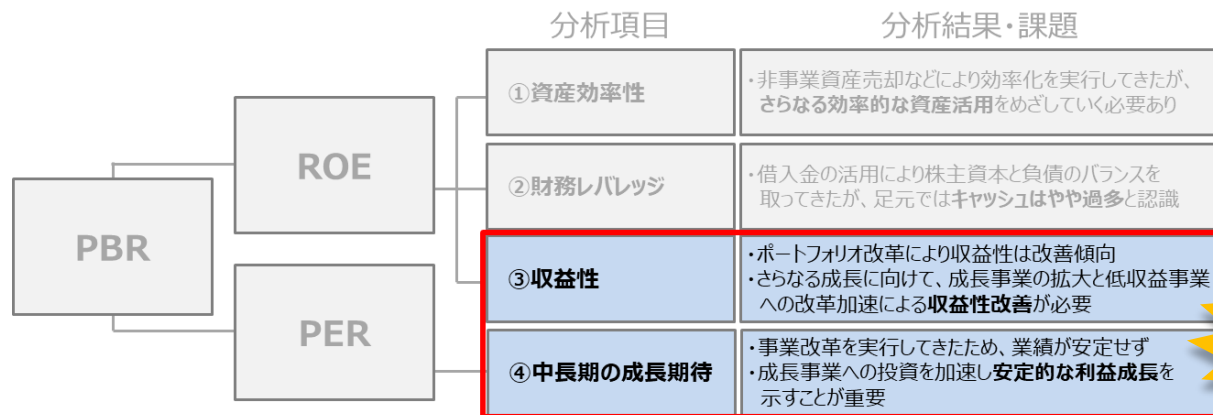
- 2023年10月に①資産効率性②財務レバレッジ③収益性④中長期の成長期待の4項目にて現状分析を実施
- 当社としての最重要課題は「収益性改善」「安定的な利益成長」と認識
- MEX26の施策を実行し、PBR1.0倍超の早期実現をめざしていく



「収益性改善」および「安定的な利益成長」が最重要課題

PBR1.0倍超に向けた取り組み

「収益性改善」「安定的な利益成長」の実現



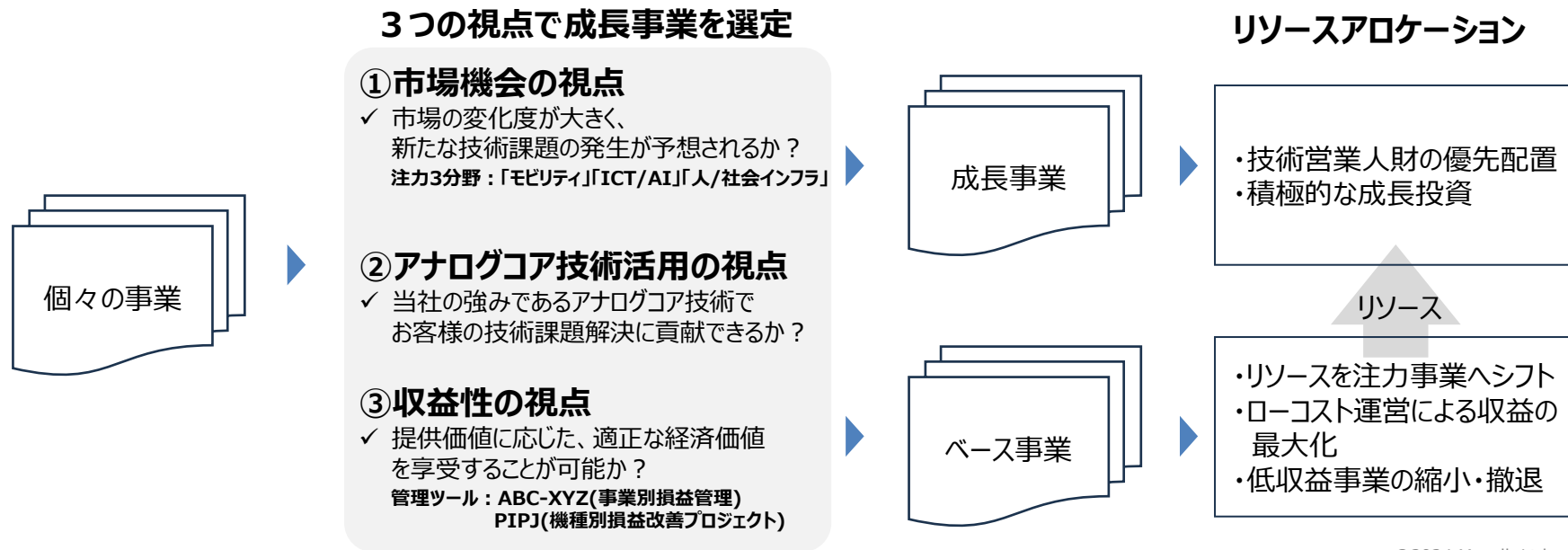
最重要課題

収益性改善に向けた事業のメリハリ付け

- 「市場機会」「アナログコア技術活用」「収益性」の3つの視点で成長事業を選定し、リソースの再配分を継続的に実施していく
- **MEX26**においては、特に変化の大きい「モビリティ」「ICT/AI」「人/社会インフラ」を注力3分野と位置付け、アナログコア技術を活用し、お客様の技術課題解決に注力していく

【メリハリ付けのプロセス】

3つの視点で成長事業を選定し、成長事業へのリソースシフトを、継続的に実施していく



アナログコア技術による注力3分野へのアプローチ

- アナログコア技術とは、電池とテープの製造から培ってきた量産技術「混合分散」「精密塗布」「高精度成形」の総称
- アナログコア技術が競争力の源泉となり得る3分野に注力し売上・利益成長を実現する



混合分散
(まぜる)

より均一に混ぜ合わせる技術



精密塗布
(ぬる)

より均一な厚さで塗る技術



高精度成形
(かためる)

かたちづくる技術

セグメント

エネルギー

機能性部材料

光学・システム

ライフソリューション

注力3分野



モビリティ

メガトレンド：モビリティ革命



ICT/AI

メガトレンド：ICT/AI革命



人/社会インフラ

メガトレンド：人/社会インフラ高度化

注力3分野における成長戦略

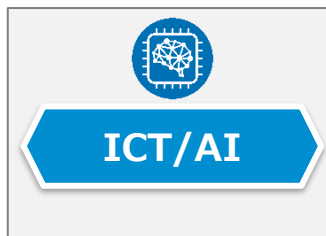
市場認識と戦略方針

成長事業



- ✓ 顧客の技術転換期による**端境期**
- ✓ 収益の最大化を図りつつ、2027年度以降の**先行技術の開発・投資を積極推進**

- ✓ 耐熱コイン形リチウム電池 エネルギー
- ✓ LEDヘッドランプレンズ 光学・システム
- ✓ 車載カメラ用レンズユニット 光学・システム
- ✓ 塗布型セパレータ 機能性部材料



- ✓ 今後さらに**伸長していく半導体市場に追従**
- ✓ 既存ポジションを強固にしつつ、**海外開拓や新市場・新規顧客へ拡張させる**

- ✓ 半導体工程用テープ 機能性部材料
- ✓ 半導体DMS* 光学・システム
- ✓ EF2(電鍍製品) 光学・システム



- ✓ 今後、**需要顕在化、需要拡大が見込まれる市場を特定**
- ✓ 技術力をベースに、**顧客に紐づいた先行投資を積極推進**

- ✓ 医療機器向け一次電池 エネルギー
- ✓ 筒形リチウム電池 エネルギー
- ✓ 建築・建材用テープ 機能性部材料
- ✓ 電設工具 ライフソリューション

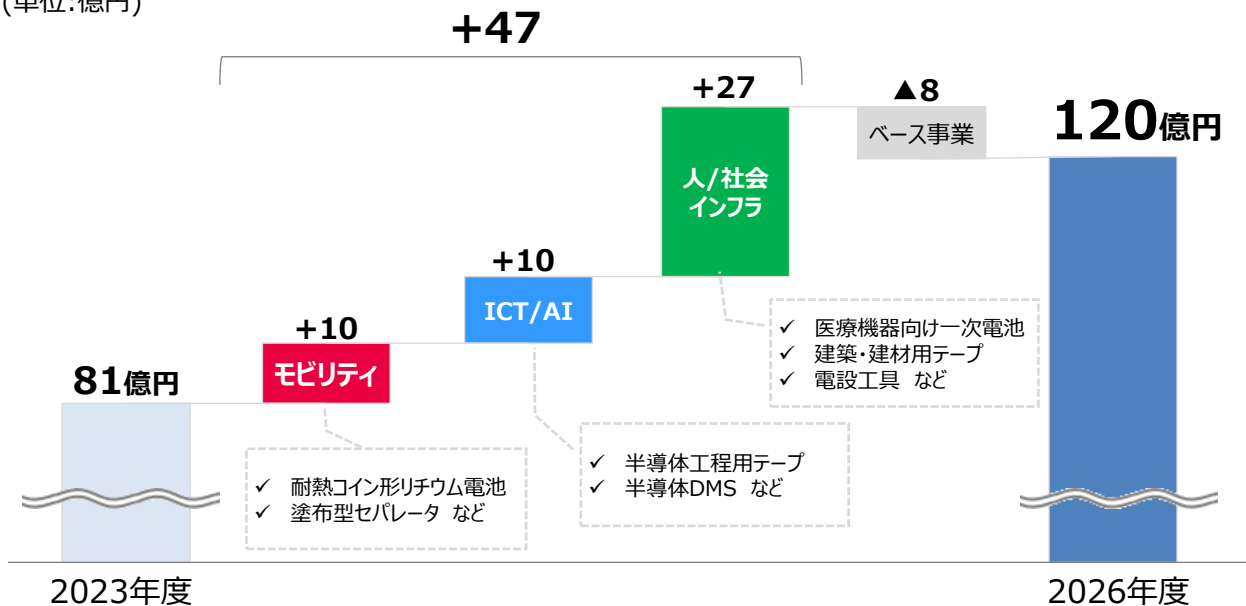
* DMS : Design & Manufacturing Service (設計・製造受託サービス)

注力3分野での収益拡大による収益性改善

- 注力3分野での成長を図る
- その他のベース事業においては事業の縮小、撤退を含めリソースの再配分を行い、注力分野での成長を加速する
- 事業のメリハリ付けを進め、全社レベルでの増収・増益を図る

2023年度 ⇒ 2026年度の営業利益偏差

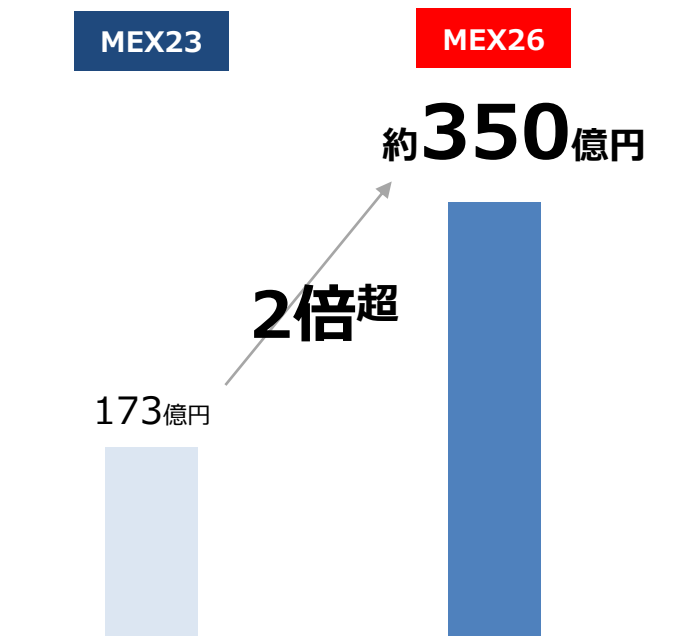
(単位:億円)



安定的な利益成長に向けた積極的な成長投資

- 注力3分野において、お客様の技術課題解決に貢献できる製品を開発し、積極的な成長投資により事業成長を図る
- **MEX26**においては、**MEX23**対比で2倍超の成長投資を見込んでいる

【成長投資額】



【主な成長投資事例】



モビリティ

- ✓ 耐熱コイン形リチウム電池増産投資
- ✓ 電気自動車用塗布型セパレータ開発・増産投資



ICT/AI

- ✓ 半導体DMS増産投資
- ✓ 全固体電池開発投資

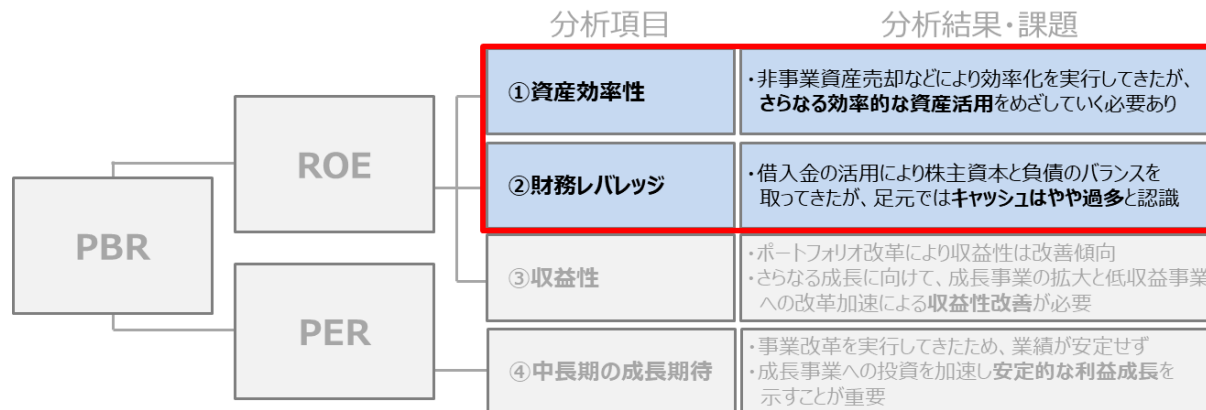


人/社会インフラ

- ✓ 医療機器向け一次電池開発・増産投資
- ✓ 建築・建材用テープ増産投資 など

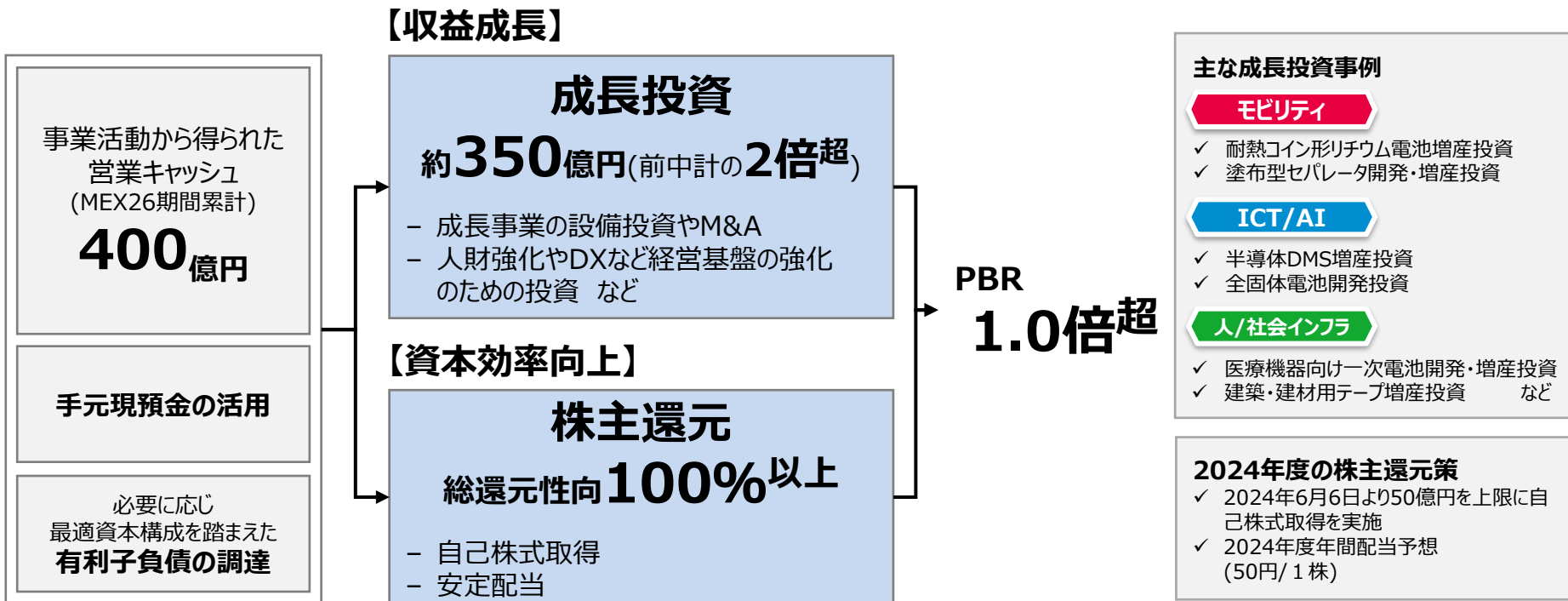
PBR1.0倍超に向けた取り組み

キャッシュアロケーション計画



キャッシュアロケーション計画

- MEX26では、積極的な成長投資による収益成長の実現と、株主還元強化による資本効率の向上によって、PBR1.0倍超を実現する

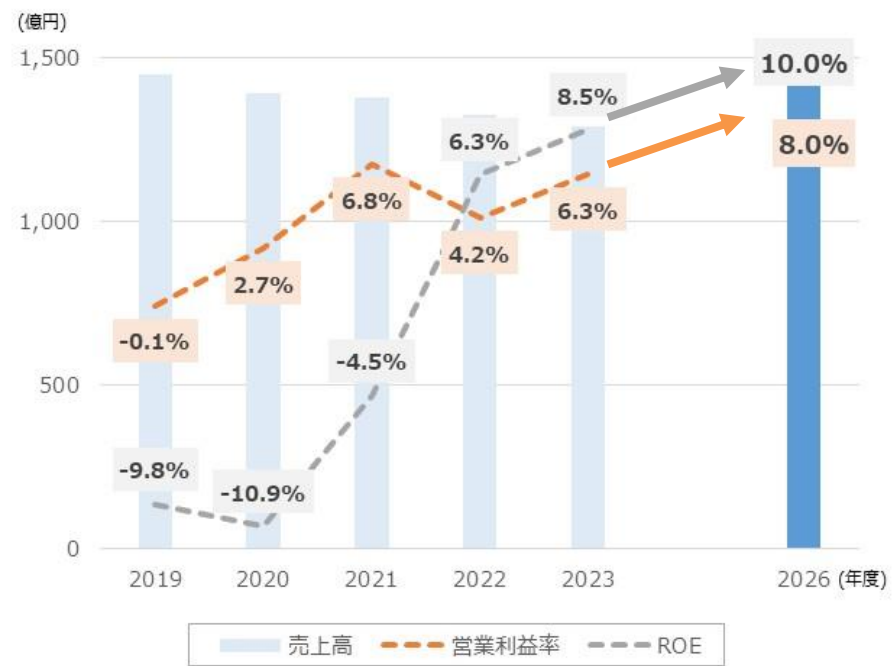


中期経営計画MEX26目標

MEX26の取り組みポイント

MEX26		
収益成長のための 事業戦略	既存事業 (ポートフォリオ)	メリハリ付けは継続しつつ、注力3分野で 事業拡大
	新事業	全固体電池の事業化に注力しつつ、 続くテーマを立ち上げ
	営業	技術営業人財を強化しつつ、グローバル 営業体制により拡販
	経営基盤	基幹システムの共通化を通じて、 業務効 率化・人財育成に注力
企業価値を最大化する 財務戦略	成長投資	成長分野へ積極投資、 対MEX23比 2倍超の350億円
	株主還元	総還元性向 100%以上 、資本効率を 向上

実績推移 MEX26



【MEX26目標値】

項目	MEX26	
	2023年度	2026年度
売上高	1,291億円	1,500億円
営業利益	81億円	120億円
営業利益率	6.3%	8.0%
ROIC	5.0%	7.5%
ROE	8.5%	10.0%

【事業セグメント別内訳】

上段:売上高 下段:営業利益	MEX26	
	2023年度	2026年度
全社	1,291億円 81億円	1,500億円 120億円
エネルギー	350億円 5億円	385億円 25億円
機能性部材料	301億円 14億円	376億円 27億円
光学・システム	414億円 56億円	452億円 48億円
ライフソリューション	227億円 6億円	287億円 20億円

将来にわたる予想の部分につきましては、皆様の投資の参考資料として、任意にご提供するものであり、当社の推測・予測に基づくものであります。

従いまして、確約や保証を与えるものではありません。

予想と異なる結果となる可能性があることをご認識のうえ、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

maxell
Within, the Future